

平成24年度学校自己評価表(2)

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の能力と個性の伸張をはかりながら、基礎学力の育成と基本的な生活習慣の確立に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の 重点目標	1 学校改革の推進 2 基礎的な学力の向上と能力・個性の伸長 3 進路実現のための進路指導体制の確立 4 基本的な生活習慣の確立と地域貢献活動の推進 5 国際交流活動および国際理解教育の推進
-------------------	--	--------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 ()月		
評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
4 基本的な生活習慣の確立と地域貢献活動の推進	基本的な生活習慣の確立	○遅刻回数が減少してきたが、まだ基本的な生活習慣に課題のある生徒もいる。	○「遅刻0の日」「遅刻防止月間」などの取り組みを通じたメリハリのある指導	○遅刻回数を前年比半減させる。	○朝起きる時間、勉強を始める時間、寝る時間の「3始点固定」の指導を徹底する。 ○遅刻回数掲示板を活用しながら、朝読書の取り組みとも連動させ啓発する。		
		○指導が浸透してきて、服装が乱れている生徒や規範意識の希薄な生徒の数が減少してきている。	○適切な挨拶、言葉遣いなど規範意識の定着と、落ち着いた学びの場の形成	○先語後礼を意識させる。 ○服装規程を徹底する。	○服装強化週間などに取り組み指導を徹底する。 ○生徒との面談・保護者懇談等も利用し、粘り強く指導していく。		
		○正しい言葉遣いや挨拶がしっかりとできない生徒も中にはいる。	○教員間での指導目標の共有と、指導する姿勢の強化	○学校全体として指導を統一し、毅然とした態度で粘り強く指導する。	○こまめに指導に対する確認を行い、全職員が一致した組織的な指導を行う。		
		○保護者や生徒会との連携が確実に取れつつある。	○保護者・生徒会との連携	○教職員・保護者・生徒会で、朝の声かけ運動を行う。年間100回以上実施する。	○保護者ののふれあい運動や生徒会の声掛け運動ともタイアップして行う。		
		○学校生活に困り感を持つ生徒もいる。	○個別具体的な課題に対応できるような支援体制の充実	○教育相談部が関係者と連絡を取りながら様々な課題を抱える生徒へ対応する。	○個別の支援チームを実働させ、全職員で情報を共有できる体制作りを工夫する。		
	地域貢献活動の推進	○学校行事に積極的に取り組む姿勢が改善傾向にある。	○生徒会活動や部活動を通じて、規範意識や自ら判断する力など生きる力の育成と、地域に貢献できる人材の育成	○生徒会主催行事後のアンケートで満足度80%以上を目指す。	○朝の挨拶運動を継続する。 ○執行部と担当教員との話し合いの時間を十分確保する。 ○週1回以上執行部会を開き、リーダーとしての自覚を高める。		
		○昨年度の部活加入率は80%を超えた。	○部活動を通じた、生徒が切磋琢磨する環境の整備と、活気ある学校づくりの推進	○今年度も年間を通して部活加入率80%以上を維持する。	○進路指導部・担任と生徒会部が連携して、進路指導のロングホームルームなどを利用して、キャリア教育の観点から部活動加入を促す。		
		○PTAと生徒会が一体となって通学路等の清掃奉仕活動を行い、地域貢献の意識も高まってきた。	○PTA活動と生徒会活動をタイアップさせた地域美化の推進	○生徒の地元への愛着が深まるような活動を組織し、参加人数を増やす。	○コスモスロードの整備のほか、TEASや部活動における地域貢献活動を推進し、本校に対する理解浸透を図る。		
		○TEASを更新し、節電・節水の意識も浸透してきている。	○循環型社会にも適応できる環境に配慮した学校作りの推進 ○日常の清掃活動のさらなる充実	○環境委員などの研修を通じて生徒の中に環境リーダーを育成する。 ○電力使用量、上水道使用量、ゴミ廃棄量は平成23年度の使用量を維持する。	○環境教育の講演会・LHRの実施 ○グリーンカーテンの設置に取り組む。 ○学校が一体となって節電・節水・ゴミの分別に取り組み、リサイクルの意識を高める。 ○教室の美化に努め、落ち着いて学習できる環境を整える。		
		○隔年でアメリカ・韓国の姉妹校と短期留学生を交換している。昨年度アメリカへ4名派遣、韓国から12名受け入れであった。	○釜山デザイン高校と交換する短期留学生の数の増進	○韓国への派遣は10名を目指し、韓国からの受け入れは今後も10名を目指す。	○韓国留学経験者の話を聞く機会を設け、韓国への興味関心を高める。 ○ハングル選択者に機会を見つけ留学を勧める。 ○ホームステイの受け入れ家庭を幅広く募る。		

評価基準 A:十分達成 B:概ね達成 C:まだ不十分 D:目標・方策の見直し
[80%以上] [60%程度] [40%程度] [20%以下]